



สมาคมนางฟ้าใจดี
KIND ANGELS ASSOCIATION

ナンファーチャイディー協会
(Kind Angels Association)

「夢のある人に、希望をもたらし、チャンスを与えます」

これまでの経緯

ナンファーチャイディー協会(Kind Angels Association)は旧副総理ポンテープ・テープカンジャンナー氏が始めた日タイ両国間の知識交換および協力を続けるために設立されました。主な目的は教育・文化・スポーツ・観光に関する知識を共有する機関になるためです。また、当協会は日本の政府機関および民間企業をタイ側の担当機関につなげ、両国のさらなる協力を作り出す役割も持っています。

ナンファーチャイディー協会は日本の各地方の政府機関からのご支援をいただき、日本各地における文化およびスポーツに関する知識交換のためのセミナー等を行い続けてきました。その結果、日タイの関係をより強く結びながら、タイの学生達が自分の知識および能力をさらに発展させていく効果もあると考えられます。

また、ナンファーチャイディー協会は日本の大学と協力し、長期の日本語教育の奨学金もいただき、学生にその機会を与えています。その上、各国の学生をタイに招き、タイ人学生と文化を交換する機会を設けています。

さらに、日本の観光促進企画に基づき、ナンファーチャイディー協会はタイの記者を日本の観光地に招き、日本の良さをタイ人により伝わる取材を放送している結果、日本の地方にもタイ人の中に人気が出ています。また、観光地だけではなく、日本の文化をより理解していただくために、日本に留学する学生達の生活の取材ビデオも作成されています。

ナンファーチャイディー協会は人を発展されることが国の発展につながると信じているため、人に様々な機会を与えることを大事にしています。どれだけ能力のある人でも、その能力を表す場がなければ意味がないと考えています。

ナンファーチャイディー協会と協力し、学生達に機会を与え、この世界により多くの能力の持っている新世代の人々を一緒に作り出していきましょう。

夢を持つ人に機会を与え、その夢を実現させるナンファーチャイディー協会

ナンファーチャイディー協会 (Kind Angels Association)の目的

ナンファーチャイディー協会 (Kind Angels Association)は、タイ国の内外において、教育関係の知識の交流の中心となることを目的としています。また、教育、職業訓練、そして、開発の遅れた地域の発展の振興に関する活動に関して、政府機関、民間組織、および、国民の間の架け橋となることも目的としています。

1. タイ国の内外において、会員、青少年、学生、そして、一般国民の間における、知識、意見、そして、経験の交流、および、教育・文化・社会に関する情報の発信の中心となります。
2. 教育、社会、文化、職業、革新などの面において、政府機関、民間組織、および、国民に対する振興活動を行います。
3. 教育振興、社会、開発の遅れた地域の発展、革新、科学技術、そして、職業教育に関する活動の実施に関して、政府機関、民間組織、そして、国民の間の架け橋となり、調整を行います。
4. 教育、社会、革新、および、科学技術に関して、教育、調査、および、研究を行います。
5. 国内外において、教育、文化、社会、革新などの面において、政府機関、民間組織、そして、国民の架け橋となります。
6. 学生、青少年、および、一般国民に対して、社会、環境、エネルギーなどに関して学ぶことを促します。



KAA-Japan cooperation network

Kitakyushu ,Fukuoka

Iwaki,Fukushima

Saku,Nagano

Kamogawa,Chiba

Ichikawa,Chiba

Shizuoka,Shizuoka

Higashikawa,Hokkaido



KAA-Kitakyushu Cooperation in Thailand

- MOU with Thai Taekwondo Association



KAA-Kitakyushu Cooperation in Thailand

- MOU as host town of Tokyo Olympic 2020 with Sport Authority of Thailand.

覚書を交わす北九州市の北橋健治市長(左)とタイのスポーツ公社のナツタヴァス・ルーンヴス副理事長

北九州市 タイのスポーツ公社と協定

青少年交流や五輪合宿にらみ 選手受け入れ

北九州市は23日、タイの開いたりしてタイのスポーツ公社と「スポーツ振興に協力する。市における交流及び連携に関する覚書」を締結した。今後、タイの選手を受け入れ、選り、青少年の交流大会を社が日本の自治体と覚書を

この日、市役所であった締結式には、同公社のナツタヴァス・ルーンヴス副理事長ら5人が出席した。北橋健治市長は「タイとはフィルムコミッションや上下水道整備で密接な関係を構築してきた。東京五輪ではキャンプ地としてタイの選手団を迎えたい」とあいさつ。同副理事長は「締結はタイのスポーツ発展につな

る。日本から学ぶばかりではなく、タイ側も協力していききたい」と応じた。一行は27日まで滞在する予定。小倉北体育館(小倉北区)で26日に開かれるパラリンピック種目「バラ・バワリフティング」の全大会を観戦するほか、九州共立大(八幡西区)スポーツ学部の研究室や建設中の北九州スタジアム(小倉北区)などを見学する。市は今年1月、東京五輪の前後を通じて特定の国・地域と交流する「ホストタウン」として、タイの相手自治体を選ばれた。タイのホストタウンは全国に五つある。

(清水恵美子)

KAA-Kitakyushu Cooperation in Thailand

- MOU with Thai Table Tennis association



- President of Thai Table Tennis association site visit in Kitakyushu

タイ卓球協会が施設を視察

06月11日 17時48分



2年後の東京オリンピックで、北九州市で事前のキャンプを行うタイの卓球協会の会長らが北九州市内の施設の様子などを視察しました。

視察を行ったのはタイの卓球協会のピーラデー・ブルティブルック会長など2人です。

北九州市とタイの卓球協会は、2年後の東京オリンピックに向けて、事前のキャンプを北九州市で行うことや、スポーツを通じて友好関係を発展させていくことなどを盛り込んだ覚書を去年、交わしています。

ピーラデー会長らは、北九州市内の体育館などの視察を行っていて、11日午後、北九州市小倉北区の西日本総合展示場本館の「中展示場」を訪れ、施設の中を見たり日本の高校生とタイの選手がいっしょに練習している様子を視察したりしました。

そしてタイの選手たちに、日本の選手の印象についてや練習を行っている体育館の設備や環境などについて尋ねたりしていました。

ピーラデー会長は「北九州には初めて来ましたが、町もきれいだし、練習会場もタイと比べて広くて設備もいいと思いました」と話していました。



KAA-Iwaki Cooperation in Thailand

- Seminar of Japan Elder Care at Banpeao hospital by Iwaki city and Japan Embassy in Thailand.



KAA News in Japan

紙

募集



宗電力福島第一原発事故により山木屋地区に出されてきた避難指示が解除されたことを受け、今しが残された松永聖さん(8)のサッカーチームで開か



緑川理事長等に感謝の言葉を述べるバンティラさん、パトムボンさん(手前右)

いわきで閉講式「思い出宝に」

タイの若者たちが日本の伝統文化や言葉、日本と絆や友好を深める「タイ青少年日本語研修」が、いわき市で閉講式が行われ、タイから訪れた研修生が学びへの熱意を示した。研修は4月30日まで。

日本とタイの文化交流を目的に、タイの若者たちの留学支援などを展開する団体「カインド・エッジエリス・アソシエーション」が2011(平成23)年からスタート。これまで若者たちの長期休暇を利用して年に1度、北海道や北九州などで研修を行ってきたが、6回目の今回はいわき市を選んだ。タイの学校は3月5月は夏休みで、10歳から20歳までの学生生徒ら36人が参加しての。

閉講式では、同団体のスタッフ、リー・プリンセンスリー理事長がお礼のあいさつを述べ、同大を運営する学校法人昌平費の緑川浩司理事長、上野野洋一副市長が研修生にエールを送り、迎えた。

研修生を代表してマワタ・サレさんが「いわきの素晴らしさを学び、タイに伝えたい」と決意した。

36人は50日間、市内に滞在し、同大で日本語を学びながら、トマト生産施設やドームいわきベイス、いわきFICの見学などを通じて、文化や歴史、産業に触れる。

二本松で5日郭外

二本松市郭内の暫く合わせた第28回郭内日、同市の県立蔵が、開かれる。郭内若連実行委員会の主催、日成会、松寿会、婦人、各団体の協力。

午前11時からの午後、こども神輿(みから会場まで練り歩場)で開会式を行う。

新入学児童の紹介発表、ビンゴゲーム、輪投げや金魚すくいなどが実施され、焼きそばの屋台が並ぶ。黒いカーや白バイが展示。

福島「ここにこ

子どもたちに笑顔とを目的とした「祭り」は5日午前10時福島市の街なか広場開かれる。福の鳥



焼き鳥を焼く「第5き鳥コンテスト」や体験やお団子づくりや体ななワークショップなども開催する。入場無料。

実行委の金木洋委さん、田口明佳さん、福島民友新聞社を

元日本代表が技術指導

松永さん、葵高サッカー部に

福島民友 2017.4.7

絵付けを体験するタイの学生ら



日本の伝統文化挑戦

いわき市で日本語研修中のタイの学生らは5日、同市上野野町のいわき湯野らわを訪問し、絵付けやわらわを体験した。

学生らは、タイの民間会社が主催する、日本語と日本の文化を学ぶプログラム

関柴スポ少

「たい」と意気込んだ。

5時

の参加者で、10、20歳の36人、東日本国際大が同プログラムを受け入れて語学研修を行い、市が被災地の視察や茶道教室など体験事業を企画。3月11日、4月30日まで市内に滞在している。

学生は絵付けなどを楽しんだほか、地元の人々が調理したけんちん汁や天ぷらなどを舌鼓を打ち、日本食に理解を深めた。

いわきで研修タイの学生ら

あが 大玉 は22日 ちく新 村の同 農業者 同村で 農具が 真。 同ホ 蔵しか 介し、

タイ研修生学びへ熱意

50日間で文化や歴史学が、タイの若者たちが日本の伝統文化や言葉、日本と絆や友好を深める「タイ青少年日本語研修」がいわき市で始まった。13日、受け入れ先の同市の東日本国際大で開講式が行われ、タイから訪れた研修生が学びへの熱意を示した。研修は4月30日まで。

日本とタイの文化交流を目的に、タイの若者たちの留学支援などを展開する団体「カインド・エッジエリス・アソシエーション」が2011(平成23)年からスタート。これまで若者たちの長期休暇を利用して年に1度、北海道や北九州などで研修を行ってきたが、6回目の今回はいわき市を選んだ。タイの学校は3月5月は夏休みで、10歳から20歳までの学生生徒ら36人が参加しての。

閉講式では、同団体のスタッフ、リー・プリンセンスリー理事長がお礼のあいさつを述べ、同大を運営する学校法人昌平費の緑川浩司理事長、上野野洋一副市長が研修生にエールを送り、迎えた。

研修生を代表してマワタ・サレさんが「いわきの素晴らしさを学び、タイに伝えたい」と決意した。

36人は50日間、市内に滞在し、同大で日本語を学びながら、トマト生産施設やドームいわきベイス、いわきFICの見学などを通じて、文化や歴史、産業に触れる。



「たい」と意気込んだ。

状況に理解 東京で学生らに講演

いわき AIの活用 策学ぶ

いわき商議所がセミナー

「AIは、私たちの生活を大きく変える技術です。これからAIを活用して、私たちの生活をより良くするために、AIの活用方法を学びたい」と、いわき商議所が主催する「AIの活用 策学ぶ」セミナーが、13日、いわき市で開かれました。

セミナーには、いわき市立大学でAIを学ぶ学生らも参加し、AIの活用方法について学びました。

課題、問題点を共有

タイ青少年の研修開講

「タイの若者たちが日本の伝統文化や言葉、日本と絆や友好を深める「タイ青少年日本語研修」が、いわき市で開講式が行われ、タイから訪れた研修生が学びへの熱意を示した。研修は4月30日まで。

防犯対策本部を

認知症予防の体操指導

「認知症予防の体操指導」が、いわき市で開かれました。

学定切申所一は60便

現在のプロジェクト



○ 文化代表プログラム (Thailand-Japan Cultural Ambassador) : いわき市福島県にて3月11日から4月30日で50日間のプログラムで、50人の学生が参加予定。

第1年	2013年	学生数30人
第2年	2014年	学生数78人
第3年	2015年(1)	学生数70人
第4年	2015年(2)	学生数17人
第5年	2016年	学生数57人
第6年	2017年	学生数56人
第7年	2018年	学生数49人



ドリームサッカー選手プログラム (Dream Soccer) : 北九州市福岡県にて10月8日から22日まで15日間のプログラムで、12人の学生が参加する予定。

第1年	2016年	学生数8人
第2年	2017年	学生数3人



文化とイノベーションのキャンププログラム (Cultural and Innovative Camp) : 北九州市福岡県にて10月8日から22日まで15日間のプログラムで、10人の学生が参加する予定。

第1年	2015年	学生数12人
第2年	2016年	学生数20人
第3年	2017年	学生数3人

過去のイベント



- 13 Mar -30 Apr 2018 Thailand-Japan Cultural Ambassador #7
- Iwaki, Fukushima JAPAN



- 1-30 Apr 2018 Junior English Explorer
- Cardiff, Wales, UK

過去のイベント



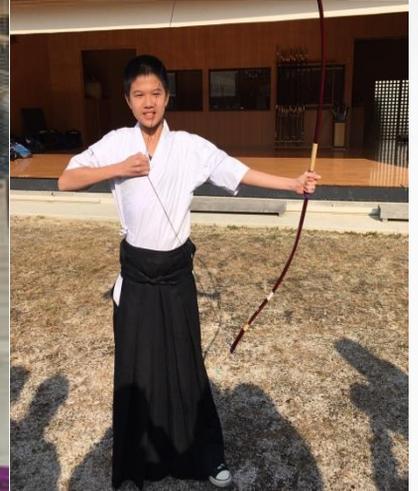
- 14-24 Oct 2017 , Dream soccer, Sport camp #2 at Kitakyushu ,Fukuoka JAPAN



- 14-24 Oct 2017, Cultural and innovative camp #3 at Kitakyushu ,Fukuoka JAPAN



過去のイベント



- 10 Mar -30 Apr 2017
- Thailand-Japan Cultural Ambassador #6
- Iwaki,Fukushima JAPAN

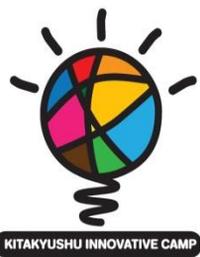
過去のイベント



- 07 -22 Oct 2016 , Dream soccer, Sport camp #1 at Kitakyushu ,Fukuoka JAPAN



- 07 -22 Oct 2016 , Cultural and innovative camp #2 at Kitakyushu ,Fukuoka JAPAN



過去のイベント



- 08 -20 Oct 2016 , Science Camp
at Saku ,Nagano JAPAN

過去のイベント



- 15-MAR -8 May 2016 , Thailand –Japan Cultural #4 at Higashikawa ,Hokkaido ,Japan

過去のイベント



- 4-25-Apr 2016 , Cultural Youth Camp at Kamogawa ,Chiba ,Japan



過去のイベント



- 15Mar-8 May 2015 : Thailand –Japan Cultural Ambassador #5

過去のイベント



- 20-29 October 2015 , Japanese Cultural and Innovative camp at Kitakyushu ,FUKUOKA ,Japan



過去のイベント



- 1-31 October 2015 , Higashikawa short term exchange program HOKKAIDO,JAPAN

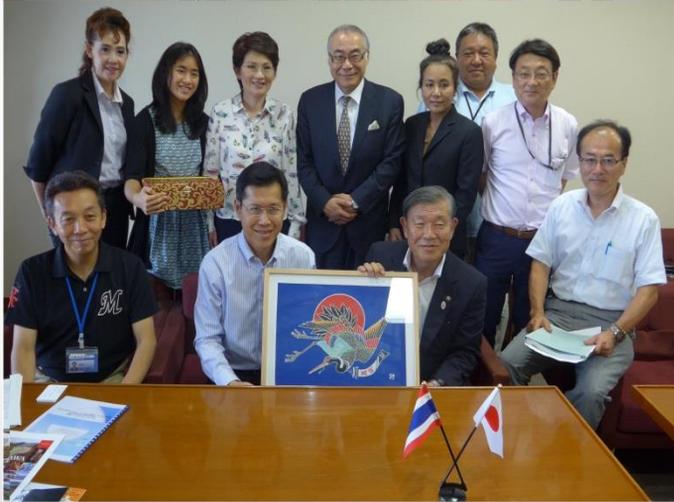


- 21 September 2015 ,Mayor of Kitakyushu official visit at Sport Authority of Thailand for MOU of Olympic discussion

過去のイベント



- 29 Jul 15-6 Aug 15 ,DPM Phongthep Thepkanjana and Kind Angels Association visit Japan and meet Mayor of Kitakyushu Fukuoka Prefecture



- Meet Mayor of Kamogawa , Chiba Prefecture



- Meet mayor of Ichikawa ,Chiba Prefecture

過去のイベント



- 2015年3月9日から5月4日：タイ日文化使節



- 2014年11月19日：函館市長がPRD を訪問



- 2014年10月3日から16日：函館短期ホームステイ

過去のイベント



- 2014年3月17日から5月13日：タイ日青少年使節



- 2013年8月13日から21日：文部科学省が日本を訪問



- 2013年4月18日から5月8日：タイ日文化使節